

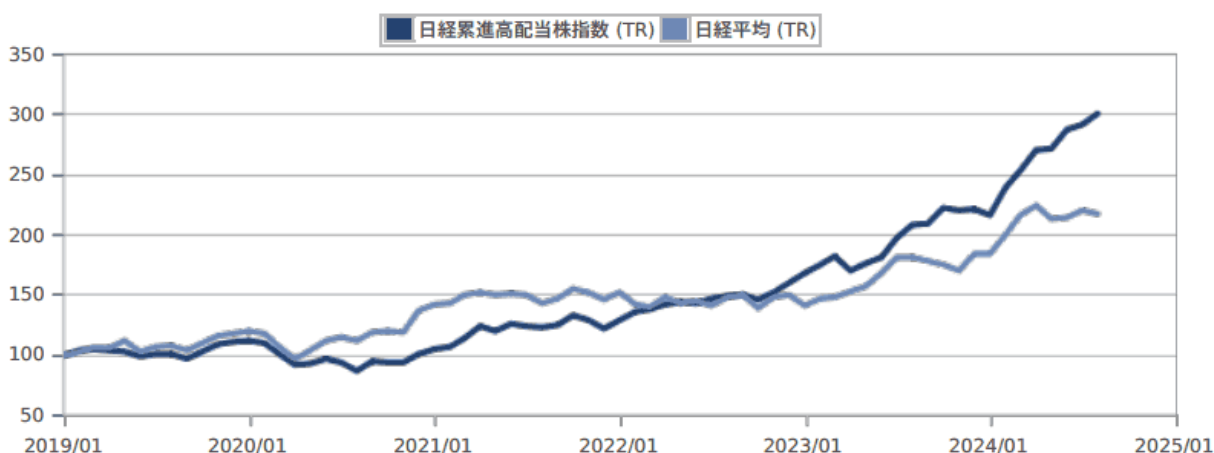
銘柄分析レポート：累進配当企業

1 はじめに

日経累進高配当株指数という、2023年6月30日から算出・公表が開始された新しい株価指数をご存じでしょうか。主な特徴は次のとおりです。

- 国内証券取引所の全上場銘柄が対象
- 実績ベースで減配せず増配か配当維持（累進配当）を10年以上続ける銘柄のうち、日経の予想配当に基づく配当利回りの高い順に30銘柄で構成
- 年1回定期見直しを実施、6月末に入れ替え
- 時価総額ウェイト方式で算出（日次終値ベースで算出）、各銘柄のウェイト上限は7%
- 2010年6月末を基点（10,000）として遡及算出

2019年以降のパフォーマンスは日経平均を大幅にアウトパフォームしています。



累進配当を続けており、かつ配当利回りの高い銘柄は、長期投資の対象としても魅力的です。

しかし私たち個人投資家がこの手の企業をピックアップするのは、かなりの労力を必要とします。なぜなら連続増配企業のようなランキングが存在しないため、配当利回りの高い銘柄をスクリーニングで抽出した後で、10年以上前までさかのぼり累進配当を行っているかどうかを手作業で確認しなければならないからです。

「何か妙案は見当たらないものか」とあれこれ思案しているうち、日経累進高配当株指数の構成銘柄を母集団として用いる方法にたどり着きました。銘柄分析の対象を日経お墨付きの30銘柄に絞り込むことで、一連のプロセスを相当に効率化することが可能です。今月号の銘柄分析レポートでは、その中から2銘柄の分析を試みます。